



# 「福澤育林友の会」ニュース

第46号 発行日2024年8月1日

福澤育林友の会  
東京都港区三田2-15-45 慶應義塾 管財部  
TEL:03-5427-1050 FAX:03-5427-1190  
<http://ikurin.jp/>



## 「義塾のカーボンニュートラル化と慶應の森」

福澤育林友の会  
会長 岡田 英史  
(慶應義塾常任理事)



ゲリラ豪雨などの異常気象や、猛暑日、熱帯夜が当たり前になりつつあり、夏を迎えるたびに地球温暖化の影響を身をもって感じます。このまま推移すると、2100年には東京の真夏日は年100日を超えるという予測もあり、地球温暖化を引き起こしている温室効果ガス、とくに二酸化炭素の排出量と吸収量を均衡させるカーボンニュートラルに向けた取り組みが求められています。

慶應義塾は2030年に電気使用量の全てを自然エネルギーに転換することを目指しています。具体的な取り組みとしては、照明のLED化による「省エネ」や、太陽光発電設備の導入による「創エネ」を計画的に実施しています。残念ながら、現時点で実施可能な対策だけではカーボンニュートラルを実現することは困難です。そこで、カーボンニュートラルのための新たな試みを始めています。その一つは、「社中協力×カーボンニュートラル計画」で、東京電力と連携して、戸建て住宅に設置した太陽光発電設備による電力に付加される「環境価値」を、慶應義塾のカーボン・オフセットに提供いただくというものです。電気はそのまま使用できるので協力いただく方の負担増はなく、個人では活用できない環境価値だけを提供いただくというのがポイントです。300戸の太陽光発電で、おおよそ神宮球場1つ分のメガソーラに相当する環境価値が発生すると見込まれます。もう一つが、学校林の新たな活用です。現在、南三陸志津川山林を対象に、森林の二酸化炭素固定・吸収量の算出を目的として、環境情報学部一ノ瀬研究会がドローンを用いた空撮による植生調査、さらに東京電力グループの協力によって森林3次元計測システムを用いた立木位置と樹径の計測を実施しています。

福澤育林友の会の活動も、昨年に日帰りで復活した研修旅行が今年はコロナ前と同様の泊まりがけで実施される予定です。講演会や研修旅行の対面での活動にも是非ご参加いただくとともに、引き続き福澤育林友の会へのご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

---

## 「セイヴ ウッド」？

---

長島 昭

---

少年時代に山陰地方の村で育った私は、70年前に登った木の感触も手に残っているし、都会で暮らす今でも木に対する愛着は強いのです。国内の森林だけでなく、これまでお誘いを受けるままにシベリアや旧満州（中国東北）やボルネオやサンパウロや四川省やメルボルンなどの森林に行つて、植林活動や林業研究所の訪問や、パンダのえさの植林や、あるいは焼き畑農業や山火事跡地の見学などに行きました。どの国でも膨大な量の木材が伐られたり燃焼されたり運び出されるのが印象的でした。どこでも木材の利用・消費が拡大し続けているようです。

私の専門は熱エネルギーに関する工学なのですが、エネルギー資源の開発にみんなが熱心に取り組んでいます。しかし自然エネルギーでも原子力でもLNGでも、資源は確保できてもこれ以上使うと地球全体が熱湯になってしまいます。エネルギーは浪費が多い。我が家の近所の薬品店は道に面したサイド全面開放のまま道路まで冷房しています。資源開発だけでなく、もっとエネルギー節約を厳しく主張しなくてはいけないのです。

木材資源の利用について世界の各地で関係者のお話には、もっと資源開発をという話は聞けても木材節約という主張はあまり聞いた記憶がありません。世界の木材使用量の増加グラフを見ると、何十年か先にはどうなってしまうのかと思います。木を植え森を育て、その木材を大切に利用し、節約するという文化も育てたいと思います。

“セイヴ エネルギー”と言うと同時に、“セイヴ ウッド”とも言う必要がもっとあるのではないのでしょうか。



## 2024年度の活動報告・活動予定について

### ■「森を愛する人々の集い」シンポジウム

日時 2024年6月1日(土) 14:30～17:00  
会場 三田キャンパス東館6階G-Lab.  
講師 三柴 淳一 氏

23回目となる今回の講演会は、認定特定非営利活動法人FoE Japan 三柴 淳一氏をお招きし「減少・荒廃する世界と日本の森林～自分事として考えたい、今私たちができること」をテーマにご講演いただきました。

今回は、世界と日本の森林を取り巻く状況について、環境という切り口から学びなおす講演会となりました。世界の森林の減少から始まり、身近な人権侵害問題まで、かなりシリアスなテーマを取り扱われておりましたが、わかりやすくお話しいただいたことと、三柴氏の親しみやすいお人柄のおかげで、参加者は時間いっぱい講演に没頭することができました。

そして講演会のあとは、ファカルティクラブに移動し懇親会を開催いたしました。会員に加え、講演会ポスターを見て参加してくれた学生もおり、にぎやかで楽しい会となりました。



(講演を行う三柴氏)



(懇親会 近況報告の様子)

### ■研修旅行 2024年10月6日(日)、7日(月) 一泊二日(日程決定)

2024年の研修旅行は、10年ぶりの南三陸・志津川の森を行先として計画中です。ぜひご予約いただけますようお願い申し上げます。

#### 【旅程案】

##### 1日目

(東北新幹線は各自手配)

12:47着 くりこま高原駅集合、バスにて移動

南三陸町の震災遺構、震災博物館、さんさん商店街の見学

16:00頃ホテルへ移動(南三陸あるいは気仙沼・大船渡)

講演会

懇親会 自由行動、就寝

##### 2日目 ホテルにて朝食、チェックアウト

志津川山林の見学など

15:00あるいは16:00頃のくりこま高原発(東北新幹線は各自手配)

詳細が決定いたしましたら、福澤育林友の会ホームページ(<https://ikurin.jp/>)にて最新情報を更新してまいります。皆様のご参加をお待ちしております。

## 2024 年度 福澤育林友の会 会計報告

会員：151名（2024年4月1日現在）

2024 年度	収 入	支 出	摘 要	
前年度繰越金	4,045,959			会費の口座 振替について 2024 年の口座振替予定 日は 2024 年 9 月 24 日 (火)を予定しています。
会費	1,205,000	0	2023 年度会費	
事業参加費	410,000	0		
利息	37	0	普通預金利息	
寄附	0	1,000,000	慶應義塾へ寄附	
通信費	0	75,445	ニュース・案内等発送通信費	
事業経費	0	647,862	シンポジウム・研修旅行	
手数料	0	18,848	会費引落サービス手数料	
当年度収支	1,615,037	1,742,155		
次年度繰越金	3,918,841			

### 【慶應義塾への寄附】

本会会則の目的にある「慶應義塾の学校林の保育に関する支援を行う。」こととして、年度末に残余金の一部を慶應義塾へ寄附しました。寄附から支出した事業・内容については、慶應義塾から連絡を受けて、後日ご報告予定です。

### 【事務局より】

2023 年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響がまだ濃く残り、さぐりさぐりの状況が続いておりましたが、2024 年度に入り、大学や一貫教育校の活動も以前のように（以前よりも？）活発に行われております。南三陸を舞台とした「みなさん mirai プロジェクト」では、学校林に関連したシンポジウムを Zoom で配信するなど、ご自宅でも参加いただける試みも行っております。

志木の森や岡山落合の森での活動もさまざま予定されております。またニュースなどでお知らせをしたいと思います。

暑い日が続きますので、皆様どうぞご自愛くださいませ。

事務局への連絡につきましては、引き続きメール (f-ikurin@adst.keio.ac.jp) にて頂戴できますと幸いです。

